

意見発表者 1 (会場①さいたま新都心合同庁舎)

意見の概要

高度成長期に十分なアセスメントもなく工業用水確保の
為に淡水化された霞ヶ浦は、名の直後から急激に水質悪
化しました。那珂川も同じく、高度成長期以降徐々に水
質悪化が進んで来ましたが、霞ヶ浦の水質は流入河川の浄
化を徹底すれば、かなり改善されます。霞ヶ浦でも護岸
の見直しをしアサガを復活させたり、大量に増えた外来
魚の駆除をしたり、鉄分を浄化する装置を取り入れたり
して浄化を進めていきます。那珂川の環境にとりて何の利
益もなく、生態系に多大な悪影響を与えるだけの導水事
業は認められませんか。環境意識の高まった今の時代に合
わない導水事業は今すぐ中止すべきです。昔のままの環
境を未来に残す事の方が大切だと思います。

※横書きで、400文字以内で記載して下さい。